



## 市議会・市関係団体が 幹線道路の改良を県に要望

10月26日、県庁で市議会、市区長連絡協議会、市商工会、市企業等連絡協議会は、市内の幹線道路の改良や、多車線化について、県に要望しました。菊陽町へのTSMCの立地や、本市への半導体関連企業などの進出に伴い、交通量が増え、道路整備や通学路などの交通安全対策が差し迫った課題となっているためです。

市議会は、県道大津西合志線と、中九州横断道路のインターチェンジに接続する主要地方道熊本菊鹿

線の改良を要望。市区長連絡協議会など3団体からは、県道大津西合志線の多車線化や、国道387号の4車線化、幹線道路の交差点改良や道路拡幅を要望しました。

要望した団体を代表して、市議会半導体拠点整備促進特別委員会の坂本武人委員長は、「幹線道路の渋滞で、生活道路が抜け道となり、交通事故が起きるなどの影響が出ている。県の前向きな対応をお願いしたい」と本市の現状について説明しました。



田嶋徹副知事(左)に要望書を渡した市議会の後藤修一議長、坂本委員長



3団体合同の要望書を提出した市区長連絡協議会の松崎和寛会長(中央右)

## 市消防団が市内をパレード 火災予防を呼びかけました

11月4日、令和5年秋季全国火災予防運動週間に先立ち消防団幹部パレード広報を実施しました。これは火災の発生しやすい季節を前に火災の発生を未然に防ぎ、火災発生時には被害の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的に実施しています。

パレードは西消防署の協力のもと、消防団幹部と本部機動隊女性団員が積載車で市内を巡回しました。



①出発式の様子 ②③市内でパレードを行なう消防車両

## 震度6弱の地震と地震に伴う火災を想定 市総合防災訓練を実施しました

10月22日、須屋地区を中心に、市総合防災訓練を行ないました。訓練では、市役所に災害対策本部を設置。須屋地区の自治会では、各地区公民館などの一次避難所への避難訓練と、体育館やふれあい館などの二次避難所への要支援者の搬送などを行ない、集合した先では避難所の設置や段ボールベッドなどの組み立てを体験しました。

また、須屋浄化センター跡地では地震火災を想定し、消防署・消防団による放水訓練と、川から水を

くみ上げて放水する『ハイドロサブシステム』の実演を行ないました。その後、消防署による煙ハウス体験や救急救命講習、自衛隊・警察署による車両展示、(株)セイブグリーンによる防災トイレ設置を行ない、参加者からは「地震当時は思い出した」「家の防災グッズを見直したい」といった声がありました。

このような訓練が、災害時の対応について各家庭や地域の皆さんと話すきっかけとなり、市民の防災意識の向上につながればと考えています。



①本部の様子 ②体育館へ二次避難 ③不足物資の運搬 ④要支援者の搬送  
⑤段ボールベッドを組み立て ⑥避難ルームテントを組み立て ⑦⑧川から水をくみ上げて放水するハイドロサブシステム ⑨消防士・消防団による放水  
⑩心臓マッサージを体験 ⑪車両展示

食生活改善推進員さんの

### 健康食レシピ

### かぼちゃの煮物

冬至にかぼちゃを食べると風邪を引かないと言われています。災害時に活用できるレシピです。

#### 材料(1人分)

- かぼちゃ……………100g
- しょうゆ……………小さじ1
- 砂糖……………小さじ1
- 水……………大さじ1
- ビニール袋(高密度ポリエチレン)

#### 作り方

- ①かぼちゃは3cm角の大きさに切る。
- ②材料全てをビニール袋に入れて空気を抜いて口を結ぶ。
- ③②を沸騰したお湯に入れて、約30分加熱して取り出す。



栄養価(1人当たり)…エネルギー 114kcal たんぱく質…2.6g 塩分…0.9g

## JA菊池すいか部会が合志ブランド認証品 『ハロウィンスイカ』を寄贈

10月23日、菊池地域農業協同組合すいか部会が、市内4カ所の保育園(愛泉保育園、合志中部保育園、西合志中央保育園、百合ヶ丘保育園)に、ハロウィンスイカをプレゼントしました。上品な甘さや種が少ないことが特徴のハロウィンスイカは贈答用としても人気があり、今年は8千玉を出荷しました。この時期に珍しいスイカに、園児たちはとても喜んでいました。



百合ヶ丘保育園の園児とすいか部会の皆さん